

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com 2009年12月号(No.112)

電子出版・電子カタログの動向④

－電子書籍の最新動向－

2009年のメールニュースでは、「Google ブック検索和解の影響」、「日本における電子書籍の現状」、「電子書籍普及のための技術的動向」などを扱ってきました。米国ではアマゾンや Google の参入により、電子書籍市場は本格的な普及期を迎えつつありますが、これらが国内市場にどのような影響を与えているのでしょうか。今回は電子書籍をめぐるその後の動向、最新動向についてまとめてみました。

■「Google ブック検索」和解契約案修正で、日本で発行された書籍は和解の対象外へ

(1) Google の書籍検索訴訟和解案、離脱相次ぐ

2008年10月に米作家協会および出版社協会と Google の間で成立した和解案は、国際条約を通じて国内にも及ぶということで、日本の出版社や作家にも波紋を広げていました。

この和解案に対しては、日本ペンクラブや専門書 99 社で構成する出版流通対策協議会などが異議申し立てをしていました。一方大手出版社など約 460 社で構成する日本書籍出版協会では、「異議申し立てをしたり、作家に代わって和解からの離脱を表明している出版社はない」としてきました。

(2) 和解契約案修正で日本で発行された書籍は対象外へ

国際的にも批判が相次いだこと、特に米司法省が「和解案の著作権法、独禁法上での合法性に懸念を表明した」ことが大きなきっかけとなって、2009年11月13日米作家協会および出版社協会と Google がニューヨーク連邦地裁に「和解契約修正案」を提出しました。修正案の中心的な内容は、「和解の対象書籍を米国著作権局に登録済みの書籍、米国、英国、カナダ、オーストラリアで発行された書籍に限定した」ことです。このことにより、日本や上記4ヶ国以外の国で発行された書籍で、米国著作権局に登録していない書籍は、すべて今回和解の対象外となりました。

詳しくは、日本書籍出版協会のホームページをご確認ください。

<http://www.jbpa.or.jp/>

■来年から Google も電子書籍販売に参入

(1) Google が電子書籍販売に参入を発表

Google は10月15日フランクフルトの国際ブックフェアにおいて、電子書籍有料販売の新サービス「グーグル・エディション」を来年前半に立ち上げると発表しました。来春の米英など英語圏を皮切りに、日本でも来年中にスタートさせる予定です。電子書籍販売をめぐるネット書籍販売最大手のアマゾンと検索エンジン最大手の Google が対決する形になってきています。

(2) 分かれる国内出版社の対応

Google が新サービス導入を前に出版社に示した条件は、「ブック検索のために一部を無料公開することを前提に、売上の63%を出版社の取り分とする」というものです。この発表に対して国内出版社の対応は分かれています。

一番積極的なのは PHP 研究所で、刊行物の9割にあたる4000冊以上を Google の新サービスに登録、著者との契約でも、ブック検索での無料閲覧を前提とした契約書を作成、著者に必ず確認するようにしています。一

方、小学館、集英社、新潮社など大手は「現在は様子見としか言えない」としています。

■アマゾンの電子書籍端末「キンドル」日本上陸の影響

(1)米アマゾンが電子書籍端末「キンドル」を世界 100 カ国で販売開始

米国では、ネット書籍販売大手のアマゾンが専用端末「キンドル」を投入したことで、電子書籍が本格的な普及期を迎えつつあります。このような中 11 月 7 日、米アマゾンは日本を含む世界 100 カ国で電子書籍端末「キンドル」の販売を開始したと発表しました。当面は英語書籍や新聞・雑誌の配信サービス限りますが、将来は「日本語など各国言語の書籍配信も展開する」としています。日本でも電子化された本や雑誌を端末で読む習慣が広がれば、電子書籍市場が一気に立ち上がる可能性もあります。

(2)国内メーカーも専用端末を投入

日本の電子書籍市場はようやく立ち上がったばかりで、現在は携帯コミックが中心ですが、電子書籍端末が普及すれば、小説やビジネス書も読みやすくなり、国内コンテンツ市場の拡大にも弾みがつきそうです。「雑誌コンテンツデジタル推進コンソーシアム」は 11 月 11 日に、電子雑誌試験配信の開始など今後の取組みを発表しています。ソニーや東芝、NEC も独自の電子書籍端末を国内に投入しつつあります。

次回は「雑誌コンテンツデジタル推進コンソーシアムの最新動向」を予定しています。

【発行】2009 年 12 月 25 日 三美印刷株式会社経営企画室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-16-7 TEL : 03-3805-7675

URL : <http://www.sanbi.co.jp>